

1人會派認めず 3人が無會派に

蒲郡市議會

23.8.19
日

蒲郡市議會は18日、議會運営委員會を開き、柴田安彦副議長(55)の日本共產黨蒲郡市議団から

の離脱に伴う會派構成の変更を決めた。委員會では、1人會派について協議したが、これまでに例

がなく、2人以上が慣例だったことを理由に認めないことになった。その結果、柴田氏

と日惠野佳代氏(51)は無會派となったが、日惠野氏は議會の場合以外では同市議団を名乗るといふ。

柴田氏は先月、党地区委員會の対応を巡って離党。無所属議員として活動する方針を示している。

同市議會の新しい

會派構成は、蒲郡市政クラブ(鎌田篤司会長)8人、無所属の會(牧野泰広代表)4人、公明党市議団(伊藤勝美团长)3人、市民の會蒲郡(新実祥悟代表)2人、無會派3人。

(佐藤芳久)

共産市議団 会派を解散

蒲郡市議会

蒲郡市議会の共産党市議団（二人）は十八日、波多野努議長に会派解散届を提出し、受理された。会派の柴田安彦市議、日恵野佳代市議はそれぞれ無会派となった。

解散は、柴田市議が七月二十七日に離党届を提出したことがきっかけ。市民病院の経営などに関する議会発言が党方針に反するとし

た匿名の手紙が党中央委員会に寄せられ、調査を受けていた。

柴田市議は「発言の本意を理解してもらえず、党とともに活動する気力を失った」と話している。

また「基本的な活動スタンスはこれまで通り」とし、五月から務める副議長もそのまま続ける。

共産党市議団
が無会派に

蒲郡市議会会派構成

蒲郡市議会議会は18日、議会運営委員会理事会を開き、会派構成について協議した。日本共産党蒲郡市議団が日恵野佳代氏共、6期Ⅱの1人となり、同委員の選出権を持つ会派として認められず、無会派となった。

理事会は、副議長の柴田安彦氏Ⅱ8期Ⅱが同市議団を離脱し、今月12日に会派異動届が提出されたのを受けて開かれた。1人でも会派として認められるかを議論。「複数人所属が会派と名乗るのにふさわしい」との声が大勢を占めた。

このため議会運営委員会は、日恵野氏が欠員となるため、24日に同理事会を開き、新たな委員を選出する。

新たな会派構成は次の通り。蒲郡市政クラブ(8人)▽無所属の会(4人)▽公明党蒲郡市議団(3人)▽市民の会蒲郡(2人)▽無会派Ⅱ柴田安彦、日恵野佳代、来本健作(安藤聡)